

かんまき



社協だより 第36号 (H23.10)

発行者：

上牧町社会福祉協議会

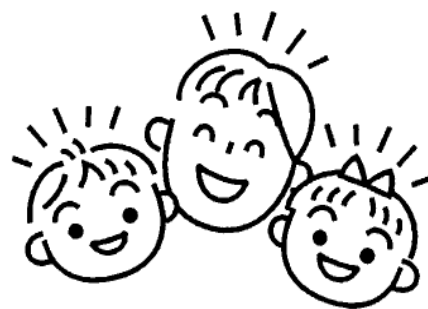
〒639-0214

上牧町上牧3245-1

TEL (76) 6098

FAX (79) 0895

小地域ネットワークの 取り組み！



上牧町の小地域ネットワークは9地区で活動しています。

みんなが安心して暮らすことの出来る地域づくりを目指しています。各地域で様々な活動が行われています。虹の会（米山台）では地域の親子に声掛けをし、夏休み期間に老若男女が役場の駐車場に集まり、『朝のラジオ体操』が行われました。

防災講座
「小地域ネットワーク活動」
について

去る8月30日（火）、上牧町小地域ネットワーク防災講座が行われました。

講師に三郷町小地域ネットワーク連絡会 会長 松尾一未さんをお迎えし、三郷町の小地域ネットワーク活動についてお話いただきました。

小地域ネットワーク活動は、住民が地域の中で安心して暮らしていけるよう地域単位で行う福祉活動です。地域の公民館でサロンで楽しくお話をしたり、世代間交流として子供たちと餅つきや昔遊びをされたりしています。

三郷町小ネットでは見守り活動を活発にされています。単身や夫婦高齢者世帯、日中独居高齢者世帯を支援対象者として、担当する世帯を4軒から5軒と



決めて毎日のように見守りをされています。「郵便受けはいっぱいになっていないかな？」

「洗濯物は干しているかな？」など日常の活動が行われているか確認しているそうです。

このような日頃のきめ細やかな活動をお聞きし、上牧町ではどのような活動が出来るのかと考えるよい機会となりました。

災害支援活動報告
～天川村～

9月3日から4日にかけて接近した台風12号は、紀伊半島南部では大きな被害をもたらしました。奈良県内でも十津川村、天川村、五條市などで大きな被害が発生し、いまま避難所で暮らす方がおられる状況です。

上牧町社会福祉協議会では、この台風12号災害への支援活動として、天川村社会福祉協議会が9月8日～13日までの6日間設置した天川村社協災害ボランティアセンターへ職員の派遣及びボランティアの派遣を行いました。

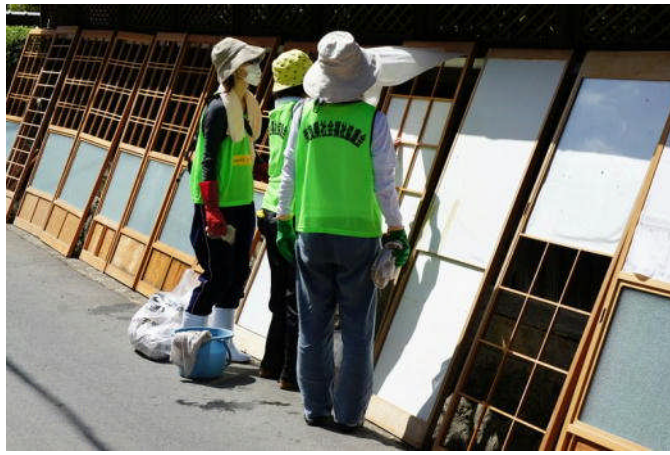
天川村では、坪内地区で山の崩落があり、天ノ川に自然ダムができた結果、天ノ川両岸の坪内地区と南日裏地区で床下床上浸水が発生しました。災害ボランティアセンターでは主に坪内地区の約60軒に対して村内外に

ボランティアを募り被災者支援を行いました。



ボランティアセンターは毎日8時30分に受付を行い9時～15時30分まで被災者宅で活動を行い16時にボランティアセンターへの報告で活動を終了します。上牧町からは上牧町ボランティア連絡協議会の協力により9月8日と11日の2日間で8名（本会職員を含む）が災害ボランティアとして活動し、この他にも

8日～12日まで運営支援者として本会職員がボランティアセンターの運営を助けました。



この結果、13日のボランティアセンター閉所までに534名のボランティアが116件の活動を行いました。

なお、十津川村社会福祉協議会も9月14日に災害ボランティアセンターを開設しましたが、ボランティア受付は村内のみとなっています。

災害ボランティア活動に参加して

当初、このボランティアに参加するか否かの連絡が来たのが実施の1日前で参加するかどうか少し迷いましたが大学で防災関係の勉強をしている以上行っておくべきだろうと判断し参加を決めました。僕の場合何もなかったところからのスタートではなく社会福祉協議会に知っている方がいたのでまだ気は楽な方だったと思います。翌日、社会福祉協議会の方々とボランティアのおじさんと共に天川村を訪れたときの印象は、台風が来たという割には比較的穏やかな感じで水害があったにもかかわらず川の水はきれいな色をしていました。しかし、ボランティア活動前に辺りを散策していると、民家の窓の上のほうにくっきりと濁流の跡が残っていたりログハウスが流れて坂をのぼって来ていたり、神社の橋が土台から妙にずれていたりと確かにこの村で水害があったことを示す光景が多々ありました。ボランティア活動の開始にあたり天川村の社会福祉協議会の方々の挨拶がありました。奈良県においてこういった災害が起こることはまれなことであったようで自分自身、奈良県のような内陸の県でそう大きな災害は起こらないだろうと考えていた節があり、今回の台風には驚きました。そして日本は島国である上そのほとんどが山地である以上ここにいれば安全なところはないということを再認識しました。

活動が本格的に開始してから各自作業を割り当てられ僕とおじさんは軽トラックを用いたの家具等粗大ごみの運搬が主な作業に決まりました。ごみの中には包丁など危険なものが混ざっていたり途中でライナーカー用の粉や日めくりカレンダーが飛び散ったりとちよつとしたトラブルもありましたがゴミをよく観察してみると通帳、洋服、雑貨類など被災前の生活を思わせるものばかりでこれらを一瞬でだめにされた被災地の皆さんの悲しみが少しだけわかる気がしました。

大量生産大量消費の現代、一度こういった災害が起こると一軒一軒からでるゴミは計り知れません。さらに被災地には生活再建、復旧、復古など大きな仕事が残っています。そうしたなかで災害ボランティアは被災地の人々の負担を軽減する上で非常に重要な役割を果たすと僕は思いました。

(感想をいただいたのはボランティアの多田尚起さんです)

共同募金運動が 始まります

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。

共同募金は「じぶんの町を良くする活動に、じぶんの町の、やさしい思いを届けます」をキヤッチフレーズに戸別募金や街頭募金などを実施し、みなさんに募金をお願いしています。共同募金は地域福祉活動のための募金として、みなさんよりいただいた募金の約70%が地域で、残りは市町村域を越えた広域的な課題に対応するために奈良県内で配分されます。

また、今年のように東日本大震災や台風12号災害などの大規模な災害が発生した際には、災害ボランティア活動の支援などに対しても共同募金が活用されます。

共同募金をとおして「じぶん



(10時～11時30分)

10月1日：近商ストア、スーパー、近商ストア、ペガサス

11月3日：近商ストア、ペガサス

募金箱の設置にご協力いただいている店舗

一岡函レ、ス片、ハフ、代局青マ行、万便の、銀、一郵便都、パは洋牧南、一の、上、スキ機、銀行、一、ま電、ぼ銀、ア、ま、ち、そ、順、ス、く、や、が、り、近、お、便、場、店、ま、パ、台、館、上、ン

の町を良くするしくみ」にご参加いただきまますようお願いいたします。

街頭募金の実施と募金箱設置場所は左記のとおりです。

義援金のべ報告

3月 日から受付を行っていただきます東日本大震災被災者への義援金は9月 日現在で2, 293, 854円となりました。

また、台風 号災害で被災された方への義援金は9月 日現在で31, 000円です。

みなさまよりお預かりした義援金は中央共同募金会等を経て等へ被災者の方々へ配分されます。

7、8月に新たにお預かりした団体は左記のとおりです。

7月	新生クラブ様
8月	片岡台2丁目自治会様
	片岡台3丁目自治会様
	北上牧自治会様
	フレンズまきば様
	松里園地藏会様

社協へのい寄附

ありがとうございます

平成23年6月～8月分

上牧町社会福祉協議会では、地域福祉推進のためのご寄附をお願いしています。皆様からいただきました金品は地域福祉事業に活用させていただきます。なお、いただきましたご寄附は、所得税法上の控除の対象になります。

氏名	種別	内訳
明朗会様	一元募金	761円
友愛会様	一元募金	1,537円
エビス会様	一元募金	2,092円
ケアサポート上牧	寄附金	30,000円